

図書館だより



令和7年1月号
泉が丘小学校

新年あけまして、おめでとうございます。お正月は、新しい年のはじまりです。日本では、その年はじめてのことに「初」をつけて、様々な願い事をしました。「初日の出」、「初夢」、「書き初め」などです。みなさん、「初もの」にどんな願いをこめましたか？



ことし えと 今年の干支 ヘビがでてくる本

ヘビは脱皮をすることから「復活と再生」を連想させ、また長生きすることから「神の使い」として全国にヘビをまつる神社があります。同様に、ヘビが登場する昔話も、日本各地にあるそうです。ここでは、ヘビが登場する昔話や本を紹介しします。

「ふるさとお話の旅② 栃木」より「蛇息子」

國學院大學栃木短期大學口承文芸セミナー



／星の環会

子どものない夫婦が神様にお祈りをして、へびの子どもが生まれます…。日陰者が村を救う話。

「ハブの棲む島 伝説のハブ捕り名人と奄美の森の物語」

西野嘉憲／ポプラ社



独特の豊かな自然が広がる奄美大島で、猛毒のヘビ・ハブとり名人を追う写真絵本。人災による生態系破壊も伝えています。

「てのひらむかしばなし 十二支のはじまり」

長谷川摂子／岩波書店



「一月一日の朝、神様の家に来た者に1年ずつ年をやる」ときいて、動物たちは大はりきり。十二支の中に、ヘビもいますね！

「てのひらむかしばなし だんだんのみ」

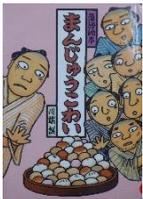
長谷川摂子／岩波書店



ととさは、腹痛の虫を退治するため、おしょうさんの言いつけどおり、かえる、へび、きじ、猟師、鬼をつぎつぎペロリ。さて、最後に食べるのは？

「落語絵本二 まんじゅうこわい」

川端誠／クレヨンハウス



長屋の若い衆が集まって「きれいなもの」の話に。へび、たぬき、クモ…。でも松つあんだけは、かわったものがきれいらしい。それは…。

「能の絵本 道成寺 大蛇になった乙女」

片山清司／BL出版



僧に対する純粋な恋心が、娘を大蛇にかえていく。道成寺の釣鐘にまつわる悲恋の伝説を描いたお能の舞台を絵本化。





新春イベント★泉が丘おみくじ

業間・昼休みに本を借りると、特製「泉が丘おみくじ」をひくことができます。
おみくじで大吉が出た人には、プラス1冊貸出をプレゼント！中吉・小吉が出た人は、おみくじがおすすめる本を借りたら、プラス1冊貸出をプレゼント。新年の運だめし、ぜひ、参加してくださいね！！

ちゅうい プラス1冊本を借りる時は、カウンターでおみくじを見せてください。
なくさないように気をつけましょう！



おみくじマメ知識

★由来

室町時代に中国から伝わり、元三大師というお坊さんが日本版のおみくじを作りました。当時は、お寺で武士が戦のゆくえを占うために、くじを引いていたそうです。



★おみくじ生産量日本一の県は？

日本のおみくじの6～7割が、山口県にある「女子道社(じょしどうしゃ)」という会社で作られています。この会社は、日本初・女性の自立を求める組織「日本敬神婦人会」の機関誌を発行する資金確保のために作られました。現在も、地域の女性たちが手作業でおみくじを作っています。



★「初詣」「おみくじ」を英語でいうと？

「初詣に行く」→「pay a visit to a shrine」
「おみくじを引く」→「receive a fortune」

1月におすすめの本

「しめかざり たくさんのふしぎ傑作集」

森須磨子 / 福音館書店

お正月、家の玄関に飾られた「しめかざり」を見たことがありますか。日本各地に、色々な形のしめかざりがあります。今年の干支「へび」の形も。新春に厳かな気持ちになれる一冊。



「雪の結晶のノート」マーク・カッター・ジョン・ソリツ / あすなろ書房



雪の結晶はどうして美しく複雑なんでしょう？小さな「ちり」がもたくなって、水と空気で作られます。あなたも観察してみよう！

「しもばしら」野坂勇作 / 福音館書店



凍るように寒い冬の朝、畑の上を歩くとサクサクとくずれる霜柱。どうやってできるのかな？